

令和7年度 第4回社会教育委員会 会議録

開催日時	令和7年10月17日 金曜日 13時30分から15時20分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	和田智司教育長、久保田秀実委員長、橋本由恵副委員長、市川葉子委員、稲葉通隆委員、関口金由紀委員、三宅栄子委員
欠席者	石黒賢路委員、伊庭しげみ委員
事務局	松本教育部長、山下生涯学習課長、二見生涯学習班長、北川スポーツ推進班長、込山図書館班長
その他	傍聴者0名

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 生涯学習課事業報告について

(委員)

図書館の見学で、小学校2年生が対象なのはなぜか。

(事務局)

生活科の中に、「町施設」に関する単元があり、そのカリキュラムに基づいて図書館を活用した授業が行われている。

(委員長)

青少年指導員の活動「愛のパトロール」は、夜に出歩く子どもが減少している現状でも継続してもらいたい。今後は、回数を減らすなど工夫しながら、活動を維持する方針が望ましいと思う。

(副委員長)

子どもが塾帰りで22時くらいに帰ってくることがあったり、深夜、西友の前に子どもがいることもあるので、子どもたちの活動時間が遅くなっているのだと思う。

(委員長)

ふたみ記念館で、小学校の子どもたちの作品が展示されていたが、保護者の方は見に来られるのか。

(事務局)

「にのみや子ども作品展」の期間中には、保護者の方にも多く来ていただいている。

(2) 青少年指導員及びスポーツ推進委員の選出について

(事務局)

青少年指導員及びスポーツ推進委員の募集について、広報 12 月号 (11 月 25 日発行) のほか、町公式ホームページやチラシを通じて周知する予定である。

(副委員長)

青少年指導員が指導する対象年齢は、何歳から何歳くらいを想定しているのか。

(事務局)

0 歳から 20 歳くらいを対象としている。

(委員)

以前の要項と変わったところはどこか。

(事務局)

受付期間を 12 月末から 1 月 16 日まで延長したことと、応募方法から FAX を除いたことである。

(委員)

主な活動内容は、集まった方で検討して始めるというイメージで良いか。

(事務局)

今年度いるメンバーで事業計画案を作りながら、来年度新しい人が入ってきて、毎年少しずつ見直していくことを考えている。

(委員)

集まった方の自主的な活動が多いと良いと思う。

放課後子ども教室の見守りについて、放課後子ども教室のサポーターと青少年指導員がいるが、同じ人が応募しても良いのか。

(事務局)

同じ方が応募いただくことはできる。その場合、放課後子ども教室では、どちらかの役割ということになる。

(副委員長)

青少年指導員は、専門的な研修は受けるのか。

(事務局)

県主催で青少年指導員を対象とした研修会を開催しており、そちらへの参加が可能である。また、町として年度初めに県の青少年センター指導者育成課を講師に迎え、研修を予定している。

(副委員長)

青少年指導員連絡協議会のメンバーに、青少年の心理や発達についての専門の方は入っているのか。

(事務局)

現時点ではない。

(副委員長)

要項の第 2 項、役割に、「青少年に関する相談と愛護指導」が入っているが、相談も受けるのか。

(事務局)

県の相談窓口があり、必要に応じて電話番号を案内している状況である。

(副委員長)

中高生の声を聞いてみると、「居場所がない」と感じているとの意見が多く見られる。集まりたい、つながりたいという気持ちがあり、そのような思いを一緒に受け止め、考えてくれる存在がいるだけでも安心感を持てるのではないかと。青少年指導員のような存在は、物理的な拠点ではなくとも、精神的なサポートを提供するという意味で非常に重要だと思う。一緒に寄り添い、伴走してくれる大人がいるというイメージを持てれば、将来、自分自身もそのような活動に関わりたいという気持ちが湧いてくる可能性がある。

(委員)

「居場所がない」という意見は、具体的にどういうことか。

(副委員長)

例えば、勉強する場所がラヂアンだけだとすぐに埋まってしまう、吹奏楽をやっている子が楽器を自由に吹ける場所がない、友達とおしゃべりをする場所がない

が挙げられる。

(委員)

最近の子どもたちの環境や親の共働きなどの状況を考えると、自分たちが過去に良かった方法をそのまま適用しても合わないと思う。これまでの「Vamos Live」は、小さい子どもたちが参加者に憧れを持ち、次の世代を育てる企画だったが、現在は発表会になっているので、ラディアン改修を機に変えられたら良い。

青少年が幼稚園を含み 20 歳くらいまでということは、小さい子どもたちの場に青少年指導員が関わるなど、考え方を少しずつ変えていく必要がある。すぐに理想の形になる訳ではないが、新しい公募という機会を活かし、固まった意見を崩しながら進めていければと思う。中高生の声を共有しながら取り組むことで、より良い方向に進むと思う。

(委員長)

新しく生まれ変わるようなイメージがあるが、ゼロスタートではないので、今あるものに足したり引いたりしながら、情報を持っている方と連携し、現状に合うようにしてもらえるとありがたい。

(委員)

今回の公募は、一步進んだものだと思っている。事故のリスクは抑えないといけないが、考えがある子たちも意見を言う機会がないのは可哀想だし、意見を言った時に、「ダメだよ」ではなく、「やってみようか」となると周りも付いてくるのではないか。

(委員)

青少年指導員に女性の方はいるのか。

(事務局)

いる。

(委員)

募集人数が 20 名だが、人数の定義はあるのか。

(事務局)

二宮町青少年指導員設置規則で 20 名以内となっている。

(委員)

予算が関係するかもしれないが、募集人数が増えたり減ったりということは、今後考えられるか。

(事務局)

これからの活動状況にはなってくるが、現段階では20名としている。

(委員)

20名集まらない可能性もあり、今後これが10名になったとしても活気ある活動になれば良いと思う。

(事務局)

町の規則で20人と定めていて、県から人数の指示はない。活動は二宮町青少年指導員募集要項に書いたような事であるが、時代に合っていないような部分もある。

スポーツ推進委員も含め、仕事の関係で休みの日が異なる等、活動できる時間帯がバラバラなため、イベント時には半数くらいの出席となっている。会議は皆で意見を出し合いたい、活動においては役割分担のようにしていけないと、今後成り立たなくなると思う。10人になってしまうと、出席が2、3人になってしまい何もできなくなることを懸念している。

(委員)

平日出られる人や土日祝日出られる人等グループ分けをするのが良いかもしれない。

(事務局)

放課後子ども教室の見守りについても昨年から試行的にやっている中で、平日の日中に仕事をしている人が多く、参加できる人が限られてしまった。そのため、今回は応募用紙の中で、実際に活動できる時間帯、活動しやすい時間帯という欄を設けた。

(委員)

日中、夜間や平日、祝休日等丸を付けるだけにした方が良いのではないか。

(事務局)

最初は、令和7年度の活動事例を載せようとしていたが、やることが固定化される懸念があるため削除した。加えて、活動しやすい日程についても検討したが、人によって休日の定義が違う可能性があり、月から金まで全て列挙すると応募用紙が

雑多な印象になってしまうので、自由に書ける範囲で書いてもらえると良いと思っている。

(教育長)

にのっこサポーターとスポーツ推進委員の募集チラシ裏面の応募要件②が同じだが、良いのか。

(事務局)

スポーツ推進委員の方は、「純粋にスポーツ活動が好きで、熱意を持って積極的に参加できる方」が正しい。

(委員)

これは紙で配るのか。

(事務局)

11月25日発行の広報にのみやに掲載される。また、ホームページ上ではもっと具体的なことを見られるようにする。関係団体の方には、募集開始のお知らせなど随時行っていく。町公式LINEでも広報誌発行にあわせて流す予定である。

(委員)

紙媒体が有効な人もいれば、紙じゃない方が良く見るという人もいる。なるべく色々な人の目に触れる方法で周知をしてもらいたい。

(事務局)

チラシについては、希望する方と現青少年指導員等に配布する。それ以外に、広報誌、フェイスブック、町ホームページ、町公式LINEでお知らせする予定である。

(委員)

掲示板では周知するのか。

(事務局)

今の段階では考えていない。様々なイベントで、どこでイベントを知ったのかアンケートを取ると、掲示板との回答はご高齢の方が多い印象がある。

(副委員長)

駅前、役場、西友前等主要なところに掲示するのは、町でやっていることのアピールにもなるので、有効ではないか。

確認だが、こういった委員は団体には委嘱できないのか。

(事務局)

青少年の関係は、にのみやこども自然塾や子どもに関わる団体に、スポーツの関係は、スポーツ協会にご案内はしているが、青少年指導員やスポーツ推進委員は、人に対して委嘱するものなので、団体にはできない。

(副委員長)

何か行う際には、いろいろな団体との協働は、引き続き考えた方が良いと思う。
スポーツ推進委員について、スポーツの中に武道も入っているが、印象が薄いと思ってしまう。

(教育長)

昨年度、国民体育大会から国民スポーツ大会に名称が変わったが、そこに武道も入っているので、このままでも良いと思う。

(副委員長)

スポーツの中に武道が入っていると皆が認識していれば良いが、「スポーツ・武道」のように並んでおいてほしい。

(事務局)

スポーツ庁ができて、今まで体育と呼んでいたものが全てスポーツと集約したところに、一般の方との認識のずれがあると思う。

(副委員長)

スポーツという名称は楽しさを含み、人が集まりやすい点が魅力である。一方、武道を習いたいという声もあり、親が習う場所を知らない場合もある。そのため、スポーツと武道が同じ意味合いであることを親に伝えることが役立つのではないか。

(委員)

先日、スポーツフェスティバルをやったが、弓道の体験者は40名を超えていた。やりたい人はいる。

(副委員長)

古くからある日本のものというのが武道にはあり、日本独自の伝統芸能も同じ要素がある。もう少し武道を大事に考えていきたい。

(委員)

素人からすれば、スポーツに武道は当然入っているイメージがある。

(委員)

スポーツに武道が入っていないイメージを持つ方がいるのは事実なので、チラシの背景にある絵は、走っている人だけではなくて、武道をやっている絵やピクトグラムのようなものもあると良いと思う。

(委員長)

スポーツ推進委員のチラシ表面右側の文章2行目に括弧で町非常勤特別職とあるが、青少年指導員の方には同じ言葉は入れないのか。

(事務局)

青少年指導員は、非常勤特別職ではないので入らない。スポーツ推進委員とは扱いが異なる。

同じく公的な委員ではあるが、スポーツ推進委員は町の職員になる。

(委員長)

スポーツ推進委員選考の際に、一定の適性を見極める必要があると思うが、何か基準はあるのか。

(事務局)

この活動を盛り上げていくために、スポーツに関わる経歴、活動に参加しやすい日時をもとに選考していきたい。

(委員長)

教員の中では盗撮事件等もあるので、一定の適性を視野に入れておいた方が良いと思う。

(副委員長)

スポーツ推進員も研修制度はあるのか。

(事務局)

スポーツ推進員同士で行うニュースポーツの研修や、神奈川県主催で他の自治体が集まってスポーツの実技研修を行っている。

(副委員長)

指導の仕方、子どもとの話し方等安全面の研修はあるのか。

(事務局)

安全面に関しては、これからやっていくところだが、現状は行っていない。

(副委員長)

昔の現場での指導の仕方と変わってきている部分があるので、声掛け一つでも、良くないところを明示し知っておいていただく必要があると思う。研修とは行かないまでも、最初に伝える等、どちらでも構わないが、入れておいていただきたい。

(3) その他

- ・生涯学習センターリニューアル図書館フロアレイアウトについて（非公開）
- ・二宮町町制 90 周年記念事業について
- ・こどもの権利講演会やパネルディスカッションについての説明

4. 閉 会